

令和元年度上半期 練馬区地域ケア圏域会議 実施状況一覧

圏域	実施日	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
練馬	R1.10.18	民生委員、練馬区三療師会、地域活動団体、社会福祉協議会、地域包括支援センター、総合福祉事務所等	29人	<p>【テーマ】 高齢ドライバーの運転と交通安全について</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢ドライバーの問題点や実際の事例を共有する。</li> <li>・練馬圏域での高齢ドライバーの実情について情報を共有する。</li> <li>・参加者からの情報をもとに課題を抽出する。</li> <li>・練馬圏域で実施された地域ケアセンター会議等の実施状況について、関係者間で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢ドライバーによる運転について、実際の地域での事例を取り上げ課題等を確認することができた。</li> <li>・警察署が行っている交通安全、詐欺被害対策等への取り組み内容について、関係者間での情報共有が進んだ。</li> <li>・認知症高齢者から車を取り上げたことがきっかけで、うつになり認知症がさらに進行する等の事例もあるため、車がなくても問題なく生活できるような環境づくりなど、代替手段が求められている。</li> <li>・高齢ドライバーの免許返納等について検討する中で、特にひとり暮らしや認知症の高齢者に対しては、近隣住民や関係機関などを含めた、地域とのつながりや連携が重要ということを再確認できた。</li> </ul>
光が丘	R1.10.18	民生委員、社会福祉協議会、介護サービス事業所、地域包括支援センター、交通企画課、福祉部管理課、総合福祉事務所等	22人	<p>【テーマ】 交通手段に困難を感じておられる高齢者のニーズ</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段に困難を感じておられる高齢者のニーズの現状把握と課題の抽出を行う。</li> <li>・区の公共交通空白地域対策や「練馬区おでかけハンドブック」について関係者間で情報を共有する。</li> <li>・光が丘圏域で実施された地域ケアセンター会議等の実施状況について、関係者間で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「バスの便が少なく、利用に困難や不便を感じている。」という意見がある中で、バス運転手の確保が困難なことや運行の認可の問題などバス業界全体の課題も多く、バス便の増設・増便や幼稚園バスなどの利活用が簡単ではないことが確認できた。その中でも、区の公共交通空白地域対策として「みどりバス」の停留所の増設など、区民のニーズに沿った対応が実施されていることを会議で共有できた。</li> <li>・「光が丘地域は公園・団地移動の際に、道路をまたぐ橋に坂道があり昇降に課題がある。」などの意見があった。</li> <li>・外出や移動が困難な高齢者のニーズにこたえるためには、街かどケアカフェなど地域のニーズを満たせる外出・通いの居場所を作り出すことが重要である。</li> </ul>
石神井	R1.10.4	民生委員、社会福祉協議会、警察署、地域包括支援センター、保健相談所、総合福祉事務所等	28人	<p>【テーマ】 身寄りのない高齢者への支援について</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身寄りのない高齢者の事例（家族等身寄りのない高齢者の事例、家族と疎遠な高齢者の事例、判断能力のない家族がいる事例等）を通して関係機関の情報共有を行い必要な支援のネットワーク構築を図る。</li> <li>・石神井圏域で実施された地域ケアセンター会議等の実施状況について、関係者間で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親である高齢者が倒れ精神疾患の子が発見されることも多い。」「障害者の場合は家族が見えやすいが、親が亡くなった後にどのように支援するのが課題である。」など、高齢者等の孤立化や高齢の親と障害のある子の世帯についての課題が抽出された。</li> <li>・身寄りのない高齢者の場合、本人に拒否されるとその後の支援が難しくなるため、ボランティアによる見守りなどインフォーマルサービスなどの活用も含め、地域での支援が必要である。</li> <li>・身寄りのない高齢者等の事例を通して、各関係機関の役割と連携の方法について再確認ができた。</li> </ul>
大泉	R1.10.30	社会福祉協議会、介護サービス事業所、地域活動団体、地域包括支援センター、高齢者支援課、総合福祉事務所等	22人	<p>【テーマ】 大泉地域における地域包括ケアシステムの構築に向けて～インフォーマルサービスの活用と地域づくり～</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターがどのような取り組みをしているかを知る。</li> <li>・地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの顔の見える関係づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬区社会福祉協議会のボランティア・地域福祉推進コーナーおよび生活支援コーディネーターがどのような取り組みを行っているか知ることができた。</li> <li>・インフォーマルサービス等の社会資源の見える化や生活支援コーディネーターと地域包括支援センターの連携のさらなる充実など、今後の課題や取り組みについて関係者間で情報共有することができた。</li> <li>・区の「高齢者支え合いサポーター育成研修」で実施されるボランティア等の活動紹介を活用して、地域包括支援センターで実施している訪問支援事業を周知するとともに、訪問支援協力員の担い手募集を行ってはどうかなどの意見があった。</li> </ul>